

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西南学院大学新図書館	階数	地上7F
建設地	福岡県福岡市早良区西新6丁目798	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第一種	平均居住人員	1,200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,818 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年4月7日
敷地面積	3,290 m ²	作成者	篠原正樹
建築面積	1,641 m ²	確認日	2015年4月7日
延床面積	11,715 m ²	確認者	飛永直樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 2.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>福岡市早良区に計画された西南学院大学の新たな図書館である。自然換気システムを採用した、環境負荷の低減に配慮した建物である。フェンス等を設けずオープンな外構計画とし、学生のみならず地域住民にも開かれた施設として計画されている。</p>	<p>その他</p> <p>-</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。 ・床吹出空調システムを採用しており、利用者が快適に利用できる室内環境を実現している。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。 ・コンセプトに基づいた内装・照明計画がされている。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス内及び周辺建物で使用しているレンガを外装に採用し、まちなみ調和を図っている。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然換気システム採用し、自然エネルギーの積極的利用を図っている。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生水を利用し、上水利用量の削減に貢献している。 ・リサイクル材を積極的に採用している。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築及び自然環境と調和した屋外照明計画がなされている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される